

# Letter for Members

## 【コンテンツ】

●支部学術大会報告……………	187
—東関東— ……………	187

## 支部学術大会報告

### ●東関東支部学術大会

平成 23 年 2 月 6 日（日）に水戸プラザホテルにて、第 17 回茨城県歯科医学会との共同開催で、日本大学松戸歯学部 顎口腔義歯リハビリテーション学講座教授・河相安彦大会長のもと、平成 22 年度 社団法人日本補綴歯科学会 東関東支部総会・第 14 回学術大会が開催されました。一般口演 12 演題、専門医申請ケースプレゼンテーション 5 演題が発表され、活発な質疑応答が行われました。

特別講演として、東京 SJCD 会長の鈴木真名先生をお迎えし、「審美修復治療の為に軟組織のマネジメント」との題名で、審美的補綴の前処置として必須である Gingival discrepancy の改善方法に関してさまざまなエビデンスとテクニックを詳細にご講演いただきました。また、生涯学習公開セミナーとして、日本大学松戸歯学部口腔機能学講座・小見山 道講師より、『補綴と精神疾患—その基礎と臨床—』という題名で、補綴臨床に必要な精神疾患の基礎知識と臨床例が紹介され、具体的にどのように対応すべきかに関する解説がなされました。同日には、第 17 回茨城県歯科医学会公開講座市民フォーラムも併催され、東京歯科大学名誉教授・町田幸雄先生をお迎えし、「正しい咬み合せとするために—家庭の協力が一番—」と題し、歯列不正の予防には家族の理解と協力が不可欠であるという内容で、一般参加者にとってわかりやすく丁寧な講演がなされました。

また、咀嚼機能検査法、CAD/CAM を用いたオールセラミックスの臨床、舌接触補助床（PAP）の臨床、マウスガードの製作方法という日々の臨床のトピックスとなる 4 演題のテーブルクリニックも併催されました。



鈴木真名先生による特別講演



会場の様子



テーブルクリニックの様子

短い時間ながらも充実した内容となり、参加者にとって非常に実りの多い大会となりました。

（東歯大 山田将博）